

ディープな奥行きが 勇ましいタフさを表現！

グラム単位で軽と「たわもたしい」意欲をランドセルに集めたレイスのグラムライツ、リーズナブルな構造でストロークに軽化に取り組みスポーツホイールとして、クワッドマシナリーからの音は絶大だ。

その「たわ」と「軽」を維持するところが難しい。この観点からデザイン性に優れるハイブリッドの採用は得意なグラムライツのラインアップにはディープなモデルが存在しなかった。しかし、近年は解析技術が向上し、軽さと剛性をバランスさせたりハイブリッド構造の導入が可能となったため、進行のあるディープなモデルの開発に意欲が湧いた。57ケイブリーが誕生したのだ。

ディスクデザインのベースとなっているのは、かなり重厚な日本スポーツを採用したフルフェイスモデルの57G。ディープなモデルへとアレンジされたことによって、シャシーはルクスに力強さが増した。また、各ペーキングの側面にはサイドカートのデザイン処理が施され、頭部のスポークを強調しながらも高剛性を確保している。

サイズは16〜18インチの中でFFからFRまでの幅広いモデルをカバーするべく、フルフェイスを構築。さらにキャリパー、ブレーキアームなどでは不利とされるディープなモデルながら、キャリパーの逃げを意図したりムネスポークを採ることなどで、純正フルホーンのビックキャリパーと高剛性に対応した専用サイズも豊富に取り揃えている。次ページに詳細例を挙げてみる。

